

平成26年5月25日

まちづくり活動助成「地域“魅力”アップ部門・“はじめての一步”部門」

まちづくり活動提案書

1 助成を受けようとするまちづくり活動の提案について

提 案 名	一まちとアートの「出会い」・「おもてなし」の発信へー 継続的な長者町界隈の魅力発信		
団 体 名	長者町アートアニュアル実行委員会		
提案の活動を行う地域	長者町界隈（名古屋市中区錦二丁目）		
提 案 内 容	戦後、日本三大繊維街の一つとして発展し、問屋街のイメージが強い長者町界隈は、2000年よりシャッターペイントやリノベーションプロジェクト、まちづくり活動などを通し、そのイメージは多様化しつつあります。とりわけ、2010年に行われた「あいちトリエンナーレ2010」以降、長者町では「アートなまち」としての一面を強くアピールし、新たなまちの魅力創造へとつなげてきました。 今年度も昨年度までに引き続き、 1. まちとアートの出会いを継続していくこと 2. まちの魅力の再発見・再創造をしていくこと 3. 年間を通じ長者町界隈ならではのアートを発信していくこと を目的に各事業を行います。 昨年度は、まちとアートの「出会い」に「おもてなし」の要素を加え季節ごとに実施する、 1. 長者町界隈まちかどアート＝【長者町音頭】【おもてなし拠点】年に一度実施する、 2. 長者町あびす祭りでのアートイベント＝【山車（作品）の運行】年間通じて実施する、 3. 広報、情報発信＝【展覧会】 の三本柱を実行し、多様な担い手の参加へとつなげました。 活動4年目となる今年度は、これらの事業に加え、昨年、まちとして2回目となる「あいちトリエンナーレ2013」で生まれたまちとアートの「出会い」の縁を広げることはもちろん、この3年間でまちが培ったまちとアートの「出会い」「おもてなし」をまち内外に積極的に発信するための活動を実施します。 具体的には、①「あいちトリエンナーレ2013」でまちが保存を決めた作品の解説パネル制作、②ホームページ制作、③長者町に縁あるアーティストトーク開催を実施することで、来街者、長者町やアートまちづくりに対する関心層、アートに対する関心層にそれぞれ発信する仕掛けを行います。		
活動期間	平成26年4月～平成27年3月	助成金交付申請額	40万円

2 提案内容について

「1 提案の内容」について、以下の4つの視点で具体的に活動内容をご記入ください。

審査基準① 必要性	・地域に根ざしたまちづくり活動内容か ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か ・地域との連携や協力が得られる活動か ・活動メンバーのみの趣味活動や仲間づくりではなく多くの人に理解や共感を得られる活動か ・工事を伴う活動の場合、公益性、公共性のあるものか
(提案活動の必要性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。) ※過去の助成を受けた団体は、その活動助成の成果も踏まえて記入下さい。 「あいちトリエンナーレ 2010」でまちなか会場となった長者町は、愛知県、地元企業、まちづくり団体、サポーター、ボランティア、来場者など多様な主体が協働することで、アーティストにとっては、ダイナミックな作品制作を展開でき、まちにとっては、隠された地域の魅力発見と再創造につながりました。まちとアートの相乗効果を一過性のものにするのではなく、トリエンナーレ後の経験と関係性を活かし、市民が自主的に継続して、まちの魅力発信への仕掛けを行うことで、日常的なものにしていきたいと考えています。 さらに今年度は、2回のトリエンナーレを経て、今までの活動で紡いだまちの成果を広くかつ持続的に発信していく活動をしていきたいと考えています。	
審査基準② 独創性	・創意工夫にあふれた活動か ・地域性を活かした個性豊かな活動か ・新しい視点やアイデアがあるか
(提案活動の独創性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。) 一日だけのにぎわい創出を目的としたアートまちづくりではなく、定期的に継続してアート作品や大小の関連イベントを行ったり、アーティストがまちに日常的にいられる環境を育むことで、「いつ来ても、何か変化が起きる魅力的なまち」を創出します。 とりわけ、今年度は、2回のトリエンナーレと3年間の活動で得られた「まちとアートの出会い」の蓄積を多様な層へ積極的に発信していくための仕掛け・仕組みづくりを計画しています。	
審査基準③ 実現性	・提案内容が具体的にになっているか ・自己資金を含め、活動内容や資金計画などは妥当か
時期	活動内容
平成26年4月	
5月	関係各所との調整、会議
6月	アーティストトーク実施1、解説パネルデザイン、ホームページ情報整理
7月	解説パネル文章制作依頼
8月	アーティストトーク実施2、解説パネル文章校正、英訳依頼
9月	解説パネルレイアウト・印刷、ホームページ情報制作・コーディング開始
10月	解説パネル施工、ホームページ校正
11月	ホームページリリース
12月	アーティストトーク実施3
平成27年1月	
2月	アーティストトーク実施4
3月	報告書の作成

助成を受けようとする活動項目ごとの支出内訳書(ページが不足する場合は別紙にご記入下さい。)

工 事 目 に ○	活動項目	内 訳		金額(円)
	① 解説パ ネル制 作	制作費	印刷費 (3 か所 計 8 枚)	130,000
			デザイン、レイアウト費	65,000
		英訳費	英訳翻訳費	80,000
	② ホーム ページ 制作	施工費	パネル施工費	50,000
		管理費	サーバ管理費 (12 か月分)	48,000
		制作費	デザイン費	50,000
	③ アーテ ィスト トーク		コーディング費	100,000
		会場費	会場使用料 (4 回分)	20,000
		制作費	チラシ制作・印刷費 (4 回分)	24,000
		謝金	アーティスト謝金 (4 回分)	80,000
計	都市センター助成金 400,000 円 自己資金 (注) 247,000 円 (寄付金 247,000)			647,000
	「提案したまちづくり活動に係る経費」のうち工事にかかる経費			円

(注) 自己資金には、他の助成金等を含めることはできません。

審査基準④ 発展性
・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか
・助成後に地域まちづくり活動への波及効果があるか

(提案活動の発展性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。)

これまでの活動で培ったまちの地元組織(組合や町内会)と愛知県文化情報センター、あいちトリエンナーレサポーターズクラブや大ナゴヤ大学、愛知工業大学などとの協働関係を生かし、それら団体の間をつなぐプラットフォームとしてより機能し、イベント等のソフト面だけでなく、ハード面の環境整備も視野にいたした団体運営をしてきました。今年度は、これらのまちの実績を、まち内外に積極的に発信していくことで、情報の受発信ができる環境づくりを行い、長者町界隈に頻繁に来てみたいと思える魅力的なまちのブランディングへとつなげていきます。

審査基準⑤ 活動実績と主体性
・提案内容につながる地域での活動実績を有しているか
(団体の概要、活動紹介、これまでの活動成果等をご記入ください。)
・具体的にどんな熱意を注いでいるか
・工事を伴う活動の場合、自ら主体となって工事を行い、継続的に維持管理する能力があるか

※「はじめの一步部門」は審査の対象とはしません。

※参考資料として活動に関するチラシやリーフレットなどを添付することができます。

この場合、公正を期するため、A4判3枚(両面)までを限度とさせていただきます。

団体の概要、活動紹介、これまでの活動成果等を上記観点からご記入下さい。

長者町アートアニュアル実行委員会は、「あいちトリエンナーレ 2010」終了直後の11月下旬、継続的なアートまちづくりを推進するためにまちの有志で結成された任意団体です。発足1年目の2011年は、アートまち歩きや長者町で活動する多様な団体と「真夏の長者町大縁会」を新規で共催し、地元の祭り「長者町ゑびす祭り」にて山車(作品)を運行、年間作品をまちかどウィンドウに展示しました。2年目の2012年は、上記のイベント開催に加え、アーティストや多様な活動団体の拠点整備を進め、滞在空間や制作空間、会議空間の運営を開始するなど、イベント開催からプラットフォームづくりにも力を注いでまいりました。3年目の2013年は、2回目のトリエンナーレを迎え、「おもてなし」として、気軽に立ち寄れる拠点やベンチの制作・設置、長者町音頭(盆踊り)の振り付け制作など、地元町内会や各団体と協働しながら、多様な役割を担おうとしています。

※第2号様式は、3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とします。